



第85回ユネスコ・サロン

と き／4月17日(土)午後1時半～3時
 ところ／広島アンデルセン(中区本通り)
 テーマ／「都市のデザイン乗り物の美学」
 講師／山田晃三さん(デザイン総研広島
 デザイン部長)
 会 費／千円(茶菓子代含む)

25周年事業 多彩に展開

四半世紀の歴史を 飛躍台に二十一世紀へ

広島ユネスコ協会(再)結成から二十五周年を経た本年度、記念事業として「広島ユネスコ活動奨励賞」の新設、「原爆ドームを描く会」(前号既報)開催、記念誌発行を推進してきましたが、その集大成として「広島ユネスコ協会結成二十五周年記念『ユネスコ99新春フェスタ』」を一月十六日、広島アンデルセンで開催。昨年の総会で発足した記念事業企画委員会を軸に展開してきた一連の記念事業を終えました。この終了は即、二十一世紀へ向かう広島のユネスコ運動の新たな一歩の始まりでもあります。

「ユネスココーフェスタ」は、

二十五周年記念式典、「第一回
 広島ユネスコ活動奨励賞」表彰
 式、パン・フルート演奏会を柱
 に、広島市、広島市教育委員会、
 ひと・まちネットワークなどの
 来賓をはじめ約百人が出席して
 行われました。

式典では信井正行会長の挨拶に始まり、広島市教育長祝辞、広島市長メッセージ披露、日本ユネスコ協会連盟山本卓真会長祝辞(別掲)紹介に次いで、当協会の活動に貢献された財団法人多山報恩会、株式会社タカキベーカーリー、湧永製薬株式会社広島事業所に感謝状が贈られま

パンの笛の音色に酔う

「ユネスココーフェスタ」の掉尾を飾る「初春の調べ」では、

パンフルート演奏家、岩田英憲氏が、自ら演奏しているNHKテレビ番組「新日本探訪」のテーマ曲をはじめ、「野の花は風とうたう」など内外の名曲をパンの笛で三十分にあたりわたり絶妙に奏で、出席者を魅了しました。なお、この日の音曲演奏は、

式では、昨年七月開始の公募に応じた学校部門、社会部門合計十九の応募者から選ばれた次の学校・団体に賞状・ブロンズ杯が贈られました。

学校部門は広島市立大河小学校、同可部小学校、同職町中学校、同広島商業高等学校、社会部門は嘉屋日米交流基金、広島オマーン友好協会、古田チャンネルグループ、南観音日本語ボランティアグループ。

なお、受賞式に先立って、同奨励賞の選考委員長、広島大学大学院国際協力研究科科長・中山修一教授から受賞団体の活動内容が克明に紹介されながら講評が行われました。

記念パーティーに七十人

オが上映されました。

「ユネスココーフェスタ」に続いて開かれた記念パーティーに受賞団体代表など約七十人が出席、和やかに交流・交歓しました。また、受賞団体代表の「喜びと決意」表明スピーチ、当協会会員の功労者(北川建次、太鼓矢晋、高橋昭博、谷原久資、深崎敏之、古田碩永、水野文隆、山崎克洋各氏)表彰などが行われました。

記念誌発行

結成二十五周年記念事業のひとつ、記念誌を刊行しました。

内容は第一回広島ユネスコ活動奨励賞受賞団体の活動紹介記事、「ユネスコ99新春フェスタ」プログラム、広島ユネスコ協会再結成の一九七三(昭和48)年に至るまでの「前史」と会員名簿、歴代会長・副会長・事務局長名簿、そして貴重な資料として将来にわたって利用価値の高い二十五周年間の活動内容の年表「25年のあゆみ」。A5判、16頁で五百部発行。

ユネスコ活動奨励賞受賞者の声

嘉屋日米交流基金

委員長 嘉屋 文子

文化センター(館長 ウォルター・斎藤)のご協力を得て設立しました。

第一回活動奨励賞(社会部門)

を受賞できました。賛同者約千名とともに大いに感激し、感謝しております。一九九二年、広島とハワイとの相互理解と世界平和の推進を目的にハワイ日本

毎年八月にハワイから奨学生(十八〜四十歳)を招聘して、ホームステイしながら、提示した研究テーマに基づいて日本の文化、歴史、生活様式など学び、多くの人々と友情を深めま

広島市立幟町中学校
教諭 岡田 祐一

この度は、本校の国際理解教育の取り組みに対して、名誉ある賞を頂き、まことにありがとうございます。

広島ユネスコ協会が設立されてから、昨年で二十五周年

という記念すべき年を迎えられましたことに、心からお祝いを申し上げます。

載されたことに伴って「原爆ドームを描く絵画展」の開催、「原爆ドーム絵葉書」の発行等世界遺産の意義を広報する活動、また世界寺子屋運動への取り組み、さらに青少年育成事業を積極的に展開してこられました

広島ユネスコ精神のさらなる発展を

(社)日本ユネスコ協会連盟

会長 山本 卓真

一九七三年六月に再結成されて以来、広島ユネスコ協会はユネスコ憲章に掲げる国際平和と人類共通の福祉を目的とした様々な活動を展開してこられました。四半世紀にわたる長い活動の真摯な歩みを支えてこられた会員の皆様のご熱意とご尽力に対しまして、心からの敬意と称賛をお贈りいたします。

広島ユネスコ協会は一九九六年に「原爆ドーム」が文化遺産として世界遺産リスト記

た。広島ユネスコ協会結成二十五周年記念事業として「広島ユネスコ活動奨励賞」を創設されましたことは、国際理解協力をすすめる青少年層の拡大をはかる意味で特筆される事業展開と

争、そして核問題がありました。二十一世紀を一年後に控え、人類は二十世紀に経験した以上の課題を抱えているといわざるを得ません。地球の存続自体が問題となっている中で、

倉田顧問の死を悼む

倉田信雄顧問には昨年末よりお風邪で日赤病院にご入院・加療中のところ、肺炎を併発され二月六日ご逝去(享年七十五歳)になりました。

倉田顧問の広島ユネスコ協会ご加入のきっかけは、一九九一年に始まる広島ユネスコ高校生海外研修事業(五年間実施)に多山報恩会理事長として資金的援助をしていただいたことが起りです。

そのことがきっかけとなってユネスコ協会本来の事業にも多額の援助をいただくことになり、現在まで続いております。ご入会と同時に顧問にご就任いただき、以来、協会の行事にはご都合のつく限りご出席いただくことになりました。

ユネスコ運動全国大会にも欠かさずご夫妻で参加されるようになり、晩年はお身体の不自由にも拘わらず車椅子でご参加になるほどのユネスキャンぶりでありました。

ご逝去に当り、改めて物心両面のご貢献に対し感謝申し上げますとともに、心よりご冥福をお祈りいたします。

(会長・信井正行)



世界遺産 厳島神社で

当協会は、原爆ドームの世界遺産登録を記念した事業として、昨年十月二十五日、宮島・厳島神社において、ユネスコサロン現地講座を開催いたしました。

当日は、国重要文化財となっている。「朝座屋」において、厳島神社権宮司の野坂元臣先生に「厳島神社の価値と魅力」と題して講演をしていただいたあと、

ユネスコ高校生の集い開催

第二十一回広島ユネスコ高校生集い（広島ユネスコ協会、広島平和文化センター共催）が、昨年十二月二十日（日）、広島大学附属高校研修館で開かれました。参加者は、高校生ならびに関係顧問教諭を含めて二十名でした。

集いは、信井正行当協会会長の開会あいさつではじまり、「ともに生きるために」の主題のもと、「福祉の心を学ぶ」（広島桜が丘高校ユネスコ部）、「イ

飯田楯明称宜の案内と解説により、神社の中を見学いたしました。神社の維持・管理の苦労話や年中行事にまつわる興味ある解説、さらには、日頃見るこ

とができない神社の構造や歴史を、約四十名の参加者は興味深く見聞きしていました。この模様は、翌日の中国新聞紙上にも紹介され、広くユネスコ運動の

「ユネスコ班」の研究発表が行われました。

そのあと「交流・みんなで話し合おう／福祉・識字・国際理解いま私たちにできること」で意見が交換され、午前の部を終了しました。広島ユネスコ協会から信井会長のほか永田龍男、大鼓矢晋両常任理事が参加いたしました。

午後の部は、恒例のユネスコ・コーアクション街頭募金活動を、広島そごうデパート前で午後二時から約二時間、永井滋郎広島ユネスコ連絡協議会会長の参加をいただいて展開いたし

周知にも一役買ったようです。

なお、この席上で、さきの中国ブロック研修会で伝達された世界遺産認定書の写しを、宮島町教育委員会へ広島県連永井会長から伝授いたしました。この写しは、宮島中学校で生徒達に教材として使用されることとなっています。

また、ユネスコサロン終了後、ホテル聚景荘において、地元観光協会などの関係者と参加者有志が懇談を行い、宮島町にユネスコ協会の結成などについて和気あいあいの中で、情報交換を行いました。

ユネスコ世界寺小屋運動事業支援「二千年までにすべての人々に文字を」をスローガンに掲げてのこの募金活動で、総額

広島・長崎市民の声を結集して核兵器を求めない集いが、昨年十二月十二日、原爆資料館で開催され、第一部「広島・長崎から核兵器廃絶への熱い思いを」では両市の被爆者が訴え第二部「日本は核兵器廃絶に向かって

歌「厳島」を 発掘・発表

昨年十月二十五日開催の「ユネスコサロン」は、世界遺産の登録を記念して、厳島神社についての勉強会となった。その時岳父山本寿作曲の「厳島」という歌が地元の人々によって歌い継がれていると中国新聞（平成二年十一月四日付）が紹介したことをふと思い出した。

地元のコーラスグループ「童謡・唱歌の会」の方々がテーマソングとして毎週歌っておられる「厳島」を広く人々に紹介し

三万五千六百四十二円の浄財が市民から寄せられました。このお金は、(財)日本ユネスコ協会連盟を通じて有効に活用されます。

何をすべきか」では会の呼びかけ人代表のひとり、岡本三夫広島修道大学教授、広島平和研究所、外務省、両被爆者団体の代表らが討論を行いました。

当日は広島市の被爆者、平和団体、市民団体から約二百人が出席、会場の意見も組み入れた十一項目の要望（「期限を切った核兵器廃絶への道筋を明らかにすること」など）が決議されま

て、世界遺産厳島のPRにお役には立っていないかと考えた。

前述のユネスコサロン終了後役員懇親会が宮島町のホテル聚景荘で開かれ、同ホテルの社長で宮島観光協会・副会長をしておられる小林様とお会いすることが出来た。そこで小林様に私のアイデアを披露したところ、早速取り上げて頂き、去る二月十三日宮島かき祭り広場の舞台で、「童謡・唱歌の会」と「厳島フラウエンコール」のジョイント合唱で、多くの観光客にご披露し、そのことは同日の中国新聞で大きく報道された。

(理事 奥中正之)

この集いは昨年十二月十八日から二日間、広島市で開催された「核不拡散・核軍縮に関する東京フォーラム」（広島平和研究所、日本国際問題研究所主催）に対して広島・長崎の被爆者と市民の声を反映させるために開かれたもので、当協会は実行委員会に参画、高橋昭博副会長が実行委員として名を連ね、

当日の集いに協会から信井正行会長ら三人が出席しました。

なお、「東京フォーラム」は、長崎、ニューヨークでの開催後、今夏、政府が核廃絶への方向を示すことになっていきます。

1999年度総会

- 日 時 5月29日(土) 午後3～5時
- 会 場 広島アンデルセン(中区本通り)
- 議 題 1998年度事業報告・決算報告
1999年度事業計画・予算
役員改選

86回ユネスコ・サロン

- ▽日 時 5月29日(土) 午後1時半～3時
- ▽会 場 広島アンデルセン(中区本通り)
- ▽テーマ 「国際理解の課題と展望」(仮)
- ▽講師 広島大学大学院国際協力研究科
科長 中山修一教授
- ▽会 費 千円

世界音楽祭が広島で オーガスト・イン

広島市、広島市教育委員会などでは、ことし八月一日から同月末まで、世界音楽祭「オーガスト・イン・ヒロシマ'99」を開催いたします。その実施主体は同音楽祭実行委員会が行うことなっていますが、広島ユネスコ協会からも信井正行会長がメンバーとして参画し、現在、様々な準備をしているところです。

この音楽祭は、ユネスコも共催団体であり、文化や価値観の異なる人類共通のことである音楽を通じて、地元をはじめ国内外のアーティストや人々が交流の場として国際的な音楽祭を開催することによって、音楽芸術の振興、平和文化の普及が

期待されています。メインとなるのが、八月二十一日に開催される「グランドコンサート」です。サンプラザで行われるグラインドコンサートは、世界的に著名な音楽家や国内のビッグアーティストのパフォーマンス、広島・パリ二元中継など、地球規模のイベントとなります。

ユネスコ国際平和文化年 議長来広

昨年十一月十五日、ユネスコ国際平和文化年プロジェクトチーム、デービッド・アダムズ議長ご夫妻と世界ユネスコ協会クラブセンター連盟鈴木祐司会長が広島市を訪問された。主要な目的は一九九九年九月二十一日をユネスコ国際平和文化年開始の日に広島市が特別拠点とし

ての役割を果たして欲しいとの提案について平岡市長及び市役所幹部と協議するためでした。

広島ユネスコ協会も同夜、信井会長のご助言を受けて、永井県連会長がホストを務め、デービッド・アダムズ議長ご夫妻はユネスコ会員との交流を大変喜ばれました。

「人類は戦争文化の中で生きてきており、二十一世紀に向けて、戦争と暴力の文化から平和と非暴力の文化への移行する活動を地球全体で行っていきたい。広島は平和文化の拠点としてあり続けてほしい」とのメッセージを残されました。

(常任理事 藤井正二)

世界遺産を学ぶ女性に 永井顧問、講義

「ユネスコ世界遺産の話聞きたい」―広島市未来を考える女性の会(宮本久江会長)からの要請で、昨年十二月二日に開かれた「世界遺産学習会」で永井滋郎顧問(広島県ユネスコ県連会長)が講義をされました。「ユネスコとは」に始まった世界遺産の話に約三十人の女性が熱心に耳を傾け、質問が続出。会の終わりに「女性の会」(創価学会の女性会員で構成)がバザーの売

上金からとして世界遺産基金に浄財を託され、日本ユネスコ協会連盟へ届けました。

日誌

〈十月〉

- 三日 組織部会
- 八日 宮島町長、同教育長へ
宮島ユネスコ結成要請
- 一九日 核兵器廃絶を求める広島・長崎市民の集会実行委員会へ高橋副会長、亀井事務局長出席
- 二五日 第82回ユネスコ・サロン現地講座「世界遺産 厳島神社」権宮司/野坂元臣氏||厳島神社
- ※ぺあせろべ(雨天中止)
- 〈十一月〉
- 四日 正副会長会議
- 五日 核兵器廃絶:集会実行委員会へ事務局長出席
- 一三日 平和部会
- 一四日 広島ユネスコ活動奨励賞推進班会議
- 一五日 ユネスコ本部平和文化部長、D・アダムズ夫妻来広、懇談
- 一七日 「二十五周年」委員会
- 一八日 核兵器廃絶:集会実行委員会へ事務局長出席
- 二二日 理事会
- 第83回ユネスコ・サロン

〈十二月〉

- 一日 核兵器廃絶:集会実行委員会へ事務局長出席
- 二日 世界遺産講座(広島市未来を考える女性の会主催)で永井県連会長講義
広報部会
- 三日 「二十五周年」委員会
- 五日 広島ユネスコ活動奨励賞審査
- 七日 核兵器廃絶を求める広島・長崎市民の集会
広島ユネスコ活動奨励賞記者発表
- 二二日 第二一回高校生の集い
- 二五日 「二十五周年」委員会
- 〈一月〉
- 十日 「二十五周年」委員会
- 一五日 同拡大委員会、作業
- 一六日 二十五周年記念行事へ
ユネスコ新春フェスタ開催||アンデルセン
- 一七日 広報部会
- 二七日 理事会
- 第84回ユネスコ・サロン「広島と香港・最新情報」香港ドラゴン航空広島支店長/稲垣忠和氏||アンデルセン